

今日の説教のポイント<ヨハネによる福音書 19 章 28 節～42 節>

イエス・キリストの十字架の死。この出来事の意味は、自分で考えるものではなく、聖書からしっかり聞き取るべきもの。

①同じ原語、「実現した」と「成し遂げられた」に注目！

この個所でヨハネが強調していることは直ぐ分かります。イエス様の十字架の死によって「**聖書の言葉が実現した**」(28, 36)ということです。イエス様が十字架の上で「**渴く**」と言われたこと(28)、足の骨が折られなかったこと(36)、槍でわき腹が突き刺されたこと(37)の3つについてそう述べています。この「**実現した**」の元のギリシア語は、「**成し遂げられた**」(28, 30)と訳されて使われてもいます。何が成し遂げられたのか？ 聖書全体が伝えようとしている、父なる神様が独り子の十字架の死によって私たち人間の罪を赦し救おうとして下さった神様の御計画が、です！「**その日、ダビデの家とエルサレムの住民のために、罪と汚れを洗い清める一つの泉が開かれる。その日が来る、と万軍の主は言われる。**」(ゼカリヤ書 13 : 1-2)。

②「**すぐ血と水が流れ出た**」(34 節)は何を言っているのか？

これこそ、自分で考えても分かりません。しかし、上に引用した旧約聖書のゼカリヤ書を読めばすぐ分かります、旧約聖書では血が贖罪を、水が洗い清めを表すことを。「**彼が刺し貫かれたのは わたしたちの背きのためであり 彼が打ち砕かれたのは わたしたちの咎のためであった。彼の受けた懲らしめによって わたしたちに平和が与えられ 彼の受けた傷によって、わたしたちはいやされた。**」(イザヤ書 53 : 5)。イエス・キリストの死の意味が少しずつ分かって来るのではないのでしょうか。

③そして、私たち自身が動かされる！

「**その後**」(38)という言葉で、アリマタヤ出身のヨセフと、ファリサイ派の議員であったニコデモ(3 章)のやったことが記されて行きます。それは、イエス様が死んでしまわれたのに、その死によって始まった彼らの命がけの行為です。彼らは少しずつイエス様の意味に目覚めて行き、そしてついにイエス様への忠信を示す行為を、イエス様が死んでしまわれたのに示さずにはおれなくなったのです！ それは間違ってはいませんでした。主イエスは復活されたからです！